

# ごとう通信

第131号

平成23年11月1日

先月は秋晴れが余り続かず、熱くなったり寒くなったり。先月の中旬に僕も参加したハーフマラソンでは、熱中症で数十人倒れる事故も起こりニュースにも出ていました。そうかと思うと肌寒く、冬物のセーターを引っ張り出してきた日もありました。僕たちですら振り回された天気だったので高齢の方には大分こたえたようです。皆さんは大丈夫でしたか？さて、僕にとって十月は一つの鬼門です。講演会やセミナーが集中し、原稿依頼なども多く重なる時期なのですが、今年は新宿を中心にした「食」の調査をするということになり、さらに厳しい月になりました。実は昨

年もそうでしたが、こういう時期を超えた直後に体調を崩すことが多いのです。昨年は十一月に入った瞬間から二週間風邪を引きずりました。今年はなんとかそうならないよう気をつけたいです。皆さんも気をつけてくださいね。

## 錯覚

先日、NHKのテレビで面白い番組をやっていました。多くの方も見られたと思いますが、人間の錯覚についていろいろな実験などをふまえて紹介していました。例えばテーブルマジックやサッカーのオフサイドの誤審など。「へえ〜」と思うものばかりでした。

中でも驚いた実験がありました。

耳にイヤホンを入れ、ある食べ物を噛んでもらいます。ただイヤホンからは「ボリッ、ボリッ」とか「ザクッ、ザクッ」とか「サク、サク」といった異なる音を聞かせるのです。すると被検者のタレントさんが「食べ物の硬さが変化する！」と言いはじめたのです。もちろん同じ食べ物を噛んでいる最中の話です。

僕たちは、歯の感覚と顎の神経によって食べ物の硬さを分別していると教えられました。もちろんそれには違いがないと思いますが、音によって錯覚を起こしているというのは本当に驚きでした。もしかしたらイヤホンをつけて「ザクッ、ザクッ」という音を流したら、硬いものを噛めなくなったり、硬いものでも「硬いものを噛んで

